

ルールを決めるときのポイント

守れるルール 破ってしまうルール

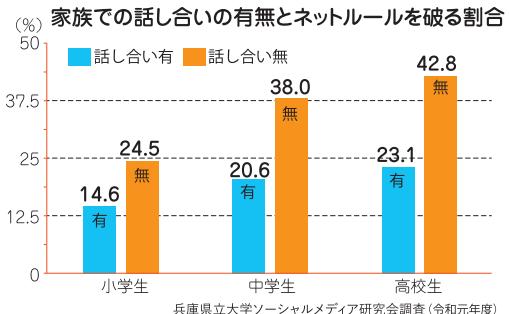
違いは？

保護者が子どもの意見をしっかりと聞き、いっしょに使い方を考え、それを守るためのルールを決める。
子ども自身がルール設定に関わることが大切です。

- データからも一方的に大人が決めたルールより、家族で話し合って決めたルールの方が、よく守られていることがわかっています。
保護者はしっかりと子どもの意見も聞いて、話し合うことが大切です。
- 守ることがはっきりとわかるように、子どもの発達段階に応じたルールを決めましょう。

ルール例

 一日〇時間、〇時間まで。 食事中は禁止する。	 使う場所を決める。 リビングだけ、布団の中に持つていかない。
 相手の気持ちや事情を 考えてやりとりする。	 フィルタリングを設定する。 時間制限機能を活用する。
 課金禁止、課金するときは 保護者に相談する、 課金限度額を決める。	 困ったら保護者や 相談機関に相談する。

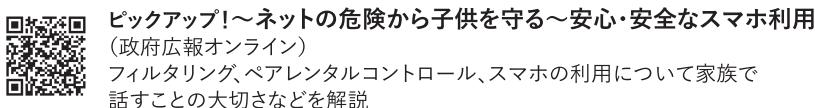
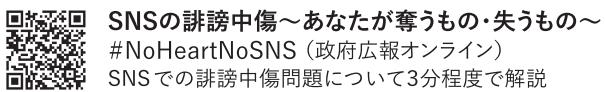
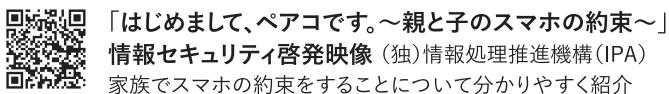


●子どものインターネット活用能力の成長に応じてルールの見直し・更新をしましょう。

相談窓口

- いじめ等の悩み 24時間電話相談窓口 0120-0-78310
24時間子供SOSダイヤル 9:00 ~ 21:00 「こころんだいやる」につながります。
- 子育てについての相談窓口
子ども・子育て応援センター(こころんだいやる) 077-524-2030
- インターネットによる人権相談窓口
インターネット人権相談窓口(公財)滋賀県人権センター
- ゲームや課金、ネット通販等の契約トラブルに係る相談窓口
滋賀県消費生活センター 0749-23-0999
消費者ホットライン 188(イヤヤ)
(最寄りの市町消費生活相談窓口または滋賀県消費生活センターにつながります。)
- 警察に対する相談窓口
警察相談専用電話(滋賀県警察本部) #9110

関連動画リンク



関連資料

